

慶良間スタイルの嵐が丘

渡嘉敷島の南端に風が吹きすさぶ、大きな砂岩の崖の上にある阿波連岬園地は、野生的で壮観な景色がよく見えます。南東から大きなコバルトブルーの波がサンゴ礁にあたるたび、エレクトリックブルーに変わります。南側には、ウン島という小さな島がそびえ、暗灰色の砂岩の崖が周囲を環状に広がります。灯台があるウン島は、渡嘉敷から狭い水路で分かれていて、ここはかつて地元の漁師が、渡嘉敷南西の端にある砂浜に行くのに使ったとされています。

駐車場から、階段が島の南西側にある砂浜に向かって通じています。砂浜の足元は粗いですが、島のはずれまで歩いていくことができ、細い水路を挟んでウン島を眺めることもできます。